

令和5年6月29日

国土交通省関東地方整備局

道路部

道路に関する新たな取り組みの現地実証実験（社会実験） の実施について

- 国土交通省道路局では、社会的に影響を与える可能性のある道路施策の導入に先立って、地域住民等の参加のもと、場所や期間を限定して当該施策を試行・評価し、もって新たな施策の展開と円滑に事業を執行することを目的とする現地実証実験（社会実験）を、公募により平成11年度から実施しています。
- 令和5年度においても実験を実施する地域を公募し、関東地方整備局管内では、以下の実験が採択されましたので、お知らせします。

申請団体	実験の名称	実験の概要	タイプ
千葉県 柏市	電気自動車への走行中給電による低炭素道路交通システムの実現のための実証実験	公道路面下に給電コイル、周辺歩道上に関連装置を設置し、走行中非接触給電の実証を行い、実環境下での他の道路利用者への影響評価を行う。また、社会的受容性調査を行い、課題の抽出・整理及び解決策の検討を行う。	現地実証実験タイプ （複数年度）
東京都 杉並区	グリーンスローモビリティ車両における自動運転への移行検証及びシミュレーター環境構築	自動運転化のODD定義を実施することで、既存インフラの活用や3D都市モデルPLATEAUへの拡張等を見据えた、新たな道路の在り方の検討に資する次世代モビリティの検証を行う。	現地実証実験タイプ （複数年度）

- 社会実験については、以下のホームページをご覧ください。

<https://www.mlit.go.jp/road/demopro/index.html>

- 令和5年度に提案のあった「道路に関する新たな取り組みに活用できる民間企業等が有するアイデア」については、以下のホームページをご覧ください。

https://www.mlit.go.jp/road/demopro/public_offering/kohyo/r05.html

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、千葉県政記者会、都庁記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 道路部

電話：048-600-1342 FAX：048-601-1385

道路計画第二課 課長 森山 祥文（内線：4251）

課長補佐 松本 勝紀（内線：4252）